Earth Tribe 導入 隊長用ガイド

そなえよつねに
ボーイスカウト

＜目次＞

私たちの地球を守る環境教育 2

Earth Tribe（アース・トライブ）とは？ 2

なぜ「Earth Tribe：地球部族」なの？ 2

挑戦できるプログラム 3

ネイチャーチャレンジ（２種類のプログラム） 3

エネルギーチャレンジ 13

プラスチックチャレンジ 14

３つのステップで取り組もう 16

ステップ１『知る』 16

ステップ２『協力する』 17

ステップ３『実行する』 17

チャレンジの進め方 18

資料１：Earth Tribe 活動立案表 19

資料２：Earth Tribe バッジ交付申請書 20

資料３：WOSM-Web サイト活用方法 21

資料４：チャレンジチェックリスト（参考：環境のアボケード/BVS） 27

私たちの地球を守る環境教育

Earth Tribe（アース・トライブ）は、気候変動を始めとする、持続可能な社会実現のための課題に取り組む環境教育プログラムです。環境に優しく、健康的なライフスタイルに向けた習慣の定着を推進しながら、自然とつながって持続可能な環境を守ることを目指しています。私たちの日常生活やスカウト活動が、日本だけでなく世界の環境に対して影響をあたえることを確認できる、世界スカウト機構（WOSM）が提供する世界共通の取り組みです。

Earth Tribe（アース・トライブ）とは？

Earth Tribe に挑戦することで、普段の生活から私たちの地球を守る機会にあふれていること、スカウト活動がいかに自然環境を守る取り組みにつながっていることを知ることができます。
スカウトは、自然とのつながりに気づいたり、持続可能な社会や環境のために行動する方法を学びます。
Earth Tribe に挑戦することとは、同じ目的をもって行動するメンバーになることを意味します。
地球の健康を改善し、世界をより良い場所にすることができる取り組みです。2020 年から世界中のスカウトが挑戦を開始しています。成人指導者も Earth Tribe の提供するプログラムを推進することによってスカウトと共に Earth Tribe（アース・トライブ）のメンバーになることができます。

なぜ「Earth Tribe：地球部族」なの？

あらゆる国の文化的、地理的背景を見たとき、おおかたの人類は何らかの**部族（トライブ）**に分類されます。部族の一員は互いにサポートしながら、それぞれ個々の道筋を見つけ歩んでいきます。部族の存在は**「メンバーの結集したカ」**にかかっています。
現在も、自然とつながりを持ち続けている先住民族がいます。部族は何世紀にもわたって、地球と自然に対する尊敬とつながりに価値を見出してきました。
この Earth Tribe は、これらの肯定的なアイデアについて、スカウトを含む若者とともに共有するひとつの方法（プログラム）として開発されました。
このプログラムは、地球を保護し、保護するための世界的な運動に参加することをいとわない 7 歳以上の青少年が参加できます。学校の友達や地域の人々も巻き込んで、この世界的な課題に取り組みましょう。

挑戦できるプログラム

ネイチャーチャレンジ（２種類のプログラム）

Better Choices-環境への良い選択

環境にやさしく健康的なライフスタイルに向けた持続可能な習慣を開発する。

自分の選択や行動が周囲の環境に与える日常的な影響を振り返るのに役立ちます。このプログラムを通じて、より持続可能なライフスタイルに貢献するために、地域社会とその消費パターンをどのように設計し、適応させることができるかについて、独自のアイデアを開発します。

Advocate
for better choices

→これを選んで『**環境のアドボケート（先駆者）**』を目指そう。

ビーバースカウト

ステップ１	①知る	学習目標 ・ 健康的に生きるために何ができるかを知る。 ・ 環境への影響を減らす方法を知る。	細目１ □・花や野菜などを育てる。 ※木の葉章細目　自然１と共通 細目２ □・簡単な料理をする。 ※木の葉章細目　自然７と共通 細目３ □・「地球温暖化」とは何か家族から話を聞いてみる。
ステップ２	②協力する	学習目標 ・ 自然を大切にするために自分ができる節約や約束を守る。	細目４ □・家で過ごしている中で、自分たちができることを考え、隊や家族の中で発表する。
ステップ３	③実行する	学習目標 ・ 環境に配慮した行動のためにあらゆる機会を利用する。	細目５ □・「協力する」で考えた、自宅でできることを期間を決めて挑戦する。挑戦したことは、ノートに記録して、隊や家族の中で発表する。

カブスカウト

ステップ1	**①知る**	学習目標 ・ 健康的に生きるために何ができるかを知る。 ・ 環境への影響を減らす方法を知る。	細目１ □・良い市民になるためのいくつかの心がまえを説明する。 ※チャレンジ章細目　市民イと共通 細目２ □・絶滅しそうな動物か植物を調べ、それを救うためには、どのようなことができるか考えて話をする。 ※チャレンジ章細目　自然保護アと共通
ステップ2	**②協力する**	学習目標 ・ 自然を大切にするために自分ができる節約や約束を守る。	細目３ □・次のうち１つを実行する。 ・ １種類の動物か植物の成長を観察し、スケッチ、写真、図表、記録帳などを使って発表する。 ・ 動物園か自然博物館などを訪ね、動物か鳥の１つについて、その特性と食習慣を調べて発表する。 ※チャレンジ章細目　自然保護イと共通
ステップ3	**③実行する**	学習目標 ・ 環境に配慮した行動のためにあらゆる機会を利用する。	目４ □・自分の住んでいる地域内での善行に心がけ、１ヵ月間の実行記録をつける。 ※チャレンジ章細目　市民工と共通

Advocate
for better choices

ボーイスカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 自分のライフスタイルと環境問題の繋がりを理解する。 ・ 自分自身の食べ物がどこから来ているか理解する。 ・ 世界的な富の配分の不一致を理解する。	細目１ □・身近に起こっている環境問題について調べ、班又は隊　で話し合う。 細目２ □・キャンプで使用する食材がどこから来るのか調べる。 細目３ □・貧困問題について調べ、その原因と解決策について自分たちでできることを班又は隊で話し合う。
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 自分の行動が環境や他の人々に与える影響に責任を感じる。 ・ 積極的にグローバル市民になる意識を持つ。 ・ 気候変動の結果として飢餓や貧困に陥っている人たちに同情し、影響を受けた人々を支援するために行動する。	細目４ □・環境保護の意義を知り班又は隊で話し合う。 ※環境保護章　細目１と共通 細目５ □・国において市民権とはどういう意味か調べ、どうすれ　ばこの国において良き国民となれるか隊長と話し合い、　その内容を班又は隊で発表する。 ※公民章　細目５と共通
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 自分自身と友人が環境への影響を減らすために挑戦する。	細目６ □・環境保護活動に取り組むために計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受ける。 ※環境保護章　細目７と共通

ベンチャースカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ より健康的で持続可能な選択のための情報を収集する。 ・ 世界の他の地域の環境問題と、それらがグローバルに、そして個々の選択によってどのように相互に関連しているかについて学ぶ。	細目１ □・地球環境問題について１つ取り上げ、自分には何ができるか説明する。 ※公民章　細目２と共通 細目２ □・「持続可能な開発」について、次の点に留意し、内容を説明できること。 ・ 国際的にどのような取り組みが行われてきたか ・ 日本は現在までどのような取り組みを行ってきたか ※環境保護章　細目６と共通
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 環境の負荷を減らすことで、持続可能性に貢献する。 ・ 地域社会の人たちを持続可能な解決策の実施に参加させる行動をする。 ・ 食糧不足を減らすために環境に優しい行動を取り入れることを他の人に勧める。 ・ 地域社会の人たちが持続可能な解決策の実施に参加できるように行動する。	細目３ □・リサイクルについて調べ身近でできるリサイクルを通して廃棄物を削減し集会でその内容を話す。 細目４ □・ボーイスカウト以外の地域に貢献する団体を調べる。 細目５ □・食料廃棄がなくなるようにするには、どのような行動があるか考え隊内で発表し話し合う。
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 自分の習慣を評価し、より持続可能にし、他の人も同じように助けるために継続的に向上する。 ・ 環境問題の結果からくる貧困や飢餓に苦しむ人々を支援するための方策を実施する。 ・ 諸機関、団体や地域社会より持続可能な行動をとるために、変化するのを支援する。	細目６ □・持続可能な社会の実現のためにできることを考えてプロジェクトのテーマとして実施した内容を報告をする。 ※富士スカウト章 課目６として取り組むことができる。

earthtribe®

ローバースカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ より健康的で持続可能な選択のための情報を収集する。 ・ 世界の他の地域の環境問題と、それらがグローバルに、そして個々の選択によってどのように相互に関連しているかについて学ぶ。	細目 □・ステップ１～３学習目標の順序で、社会環境について持続可能な社会の実現ために地域社会を　　巻き込んだプロジェクトを実施し報告する。
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 環境の負荷を減らすことで、持続可能性に貢献する。 ・ 地域社会の人たちを持続可能な解決策の実施に参加させる行動をする。 ・ 食料不足を減らすために環境に優しい行動を取り入れることを他の人に勧める。 ・ 地域社会の人たちが持続可能な解決策の実施に参加できるように行動する。	
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 自分の習慣を評価し、より持続可能にし、他の人も同じように助けるために継続的に向上する。 ・ 環境問題の結果からくる貧困や飢餓に苦しむ人々を支援するための方策を実施する。 ・ 諸機関、団体や地域社会より持続可能な行動をとるために、変化するのを支援する。	

取得できるバッジ

Advocate
for better choices

Nature and Biodiversity-自然と生物多様性

自然とつながり、持続可能な社会にむけて自然を守る。

人間と自然は相互に依存しています。自然と生物多様性は、アウトドアスキルと大自然の発見のための重要な学習環境です。生態系があらゆる生命を支える方法を理解し、また、食糧の形で栄養を提供し、水源として機能し、多くの生物に住処を提供し、炭素除去のバランスをとる機能をしていることを理解します。
自然に対する異なる要求がどのようにバランスを取ることができるかについて、独自のアイデアを開発するでしょう。

→これを選んで『**自然と生物多様性のチャンピオン**』を目指そう。

Champion
for nature and biodiversity

ビーバースカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 自分の地域のことを知る。 ・ 地元の生き物やその生息地について学ぶ。	細目１ □・自然の生き物や天気などを気を付けて見る。 ※木の葉章細目　自然２と共通 細目２ □・ピクニックや探検に出かける。 ※木の葉章細目　自然５と共通
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 自然を好きになり野外で活動を楽しむ。 ・ 自然に感謝する。	細目３ □・自然の材料で遊び道具を作って遊ぶ。 ※木の葉章細目　自然３ 細目４ □・季節の移り変わりや特徴を気を付けて見る。 ※木の葉章細目　自然４
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 自然の中で時間を過ごしながら、他の生物を尊重する。 ・ 自然や生物に影響を与えないように振る舞う方法を知る。	細目５ □・自然や生物の影響を与えない方法を話し合いピクニッ　クや探検で実行する。

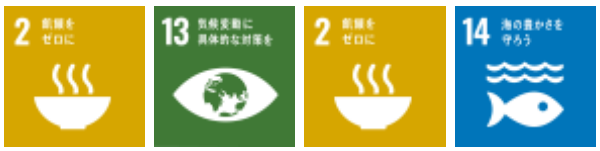
カブスカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 自分の地域のことを知る。 ・ 地元の生き物やその生息地について学ぶ。	細目１ □・自分が住んでいる都道府県の県花、県木、県鳥の名前と由来などについて調べ説明する。 ※チャレンジ章細目　市民オと共通 細目２ □・自分の住んでいる周りにどんな動物がいるかを調べる。 ※チャレンジ章細目　動物愛護アと共通
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 自然を好きになり野外での活動を楽しむ。 ・ 自然に感謝する。	細目３ □・自分の家や学校などで飼っている動物の飼育記録を１ヵ月以上つける。 ※チャレンジ章細目　動物愛護イと共通
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 自然の中で時間を過ごしながら、他の生物を尊重する。 ・ 自然や生物に影響を与えないように振る舞う方法を知る。	細目４ □・次の課題のうち１つに参加するか、または実行する。 ・ 下水溝、川や池の周りのごみを取り除き、きれいにする。 ・鳥のえさ台、水浴び巣箱を作り、備えつけて管理する。 ・自然環境調査（ウオッチング、保護樹など）に参加する。 ※チャレンジ章細目　自然保護ウと共通 細目５ □・上記のような自然を保護する取り組みがなぜ必要なの理由を説明する。

Champion
for nature and biodiversity

ボーイスカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 自然の法則を理解し、自分の周りの環境でどのようになっているかを見る。 ・ 社会が生物多様性に与える影響を理解する。	細目１ □・食物連鎖について調べ身近な自然の中でその連鎖を　観察する。 細目２ □・国内の絶滅危惧種を、動物・植物についてそれぞれ２　種類以上挙げ、その現状について説明ができる。また、地域の自然環境に対し、人間の活動がどのように影響しているかを調べ、例を挙げて説明する。 ※環境保護章　細目３と共通
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 生物多様性の損失を減らすための行動に取り組み、他の人々が一緒に取り組めるように勧める。	細目３ □・日本がどのように国際貢献をしてきたか、また今後求　められる国際貢献について説明する。 ※公民章　細目３と共通 細目４ □・地球環境に影響を与える有害物質を３種以上上げ、その危惧種を減らすために、個人、グループまたは地域で、できることをについて提案をする。 ※環境保護章　細目４と共通
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 地域の自然を保護し、回復するのに役立つイベントに参加する。	細目５ □・自然保護活動に取り組むための計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受ける。 ※環境保護章　細目７と共通



ベンチャースカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 地球レベルと世界レベルの両方で生物多様性の損失のルーツを理解する。 ・ 環境紛争の異なる立場を特定し、個人の価値観に基づいて自分の意見をはっきりと持つ。	細目１ □・国立公園など自然や環境について知識を深めることができる施設を訪問し、そこで学んだ内容についてレポートする。特にその周囲や環境や生態系に影響を及ぼしている事項について示す。 ※環境保護章　細目５と共通 細目２ □・環境紛争について調べ、それぞれの立場に立った意見をまとめその解決策を考え自分の意見を発表する。
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 自然と調和して自分の人生を生きる方法と、社会がより持続可能になるためにはどう支援するかを考える。	細目３ □・ソロキャンプを行い自然を体感して自然と調和する人生について考えたことを隊の中で話し合う。 細目４ □・自然環境を破壊せず社会が持続可能になるために自分自身でできることを考え隊の中で話し合う。 細目５ □・隊長の助言を得て、地域社会の指導的指導的立場のある人を訪問し、仕事や任務について学び、集会で話す。 ※公民章　細目８と共通
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 日常生活の中で、自分の行動が自然に与える影響を測ることを考えながら、他の人にも同じようにすることを勧める。	細目６ □・環境保護活動についてプロジェクトのテーマとして実施した内容を報告をする。 ※富士スカウト章 課目６として取り組むことができる。

ローバースカウト

ステップ1	①知る	学習目標 ・ 地球レベルと世界レベルの両方で生物多様性の損失のを理解する。 ・ 環境紛争の異なる立場を特定し、個人の価値観に基づいて自分の意見をはっきりと持つ。	細目 □・ステップ１～３学習目標の順序で、自然環境について持続可能な社会の実現ために地域社会を巻き込んだプロジェクトを実施し報告する。
ステップ2	②協力する	学習目標 ・ 自然と調和して自分の人生を生きる方法と、社会がより持続可能になるためにはどう支援するかを考える。	
ステップ3	③実行する	学習目標 ・ 日常生活の中で、自分の行動が自然に与える影響を測ることを考えながら、他の人にも同じようにすることを勧める。	

取得できるバッジ

Champion
for nature and biodiversity

Clean Energy-クリーンエネルギー

持続可能なエネルギーの選択を探り、取り入れる。

気候変動は、最も差し迫ったチャレンジの一つです。気候変動は、主にエネルギー資源に対する私たちの高い需要によって引き起こされ、それは、エネルギーを生み出す為の農業と林業からの副産物をも含みます。この歪みに対して、より良い解決策をみつけ実行するためには、すべての人が責任をおわなければなりません。この学習プロセスでは、気候への影響とそれぞれのエネルギー源の使用による影響について振り返ります。そして、気候変動を緩和するための方法の新しい可能性を模索します。

Innovator
for clean energy

→これを選んで『**エネルギーイノベーター（革新者）**』を目指そう。

※随時プログラムを読み替え次第公開予定

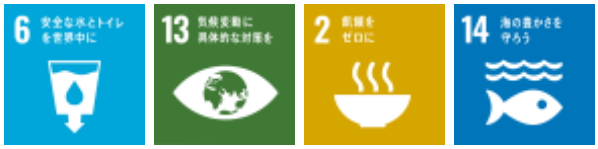
学習プロセス	6~10 歳(BVS.CS)	11~14 歳(BS)	15 以上歳(VS.RS)
① 知る	文明が化石エネルギーに依存していることを理解する。 再生可能エネルギーと非再生可能エネルギーの供給源を見分けることができる。	気候変動の原因を知る。 異なるエネルギー源が環境や気候に与える影響を挙げることができる。 毎日のエネルギー消費量を減らす方法を知る。	気候変動を緩和する方法と、地域社会がこれらの変動にどのように対処できるかを知る。 さまざまなエネルギー源の長所と短所を知る。 再生可能エネルギー源が環境への影響を減らし、持続可能な開発を推進する方法を知る。
② 協力する	気候変動について他の人と話し、自分と他の人々が自然にどのようにつながっているかを説明できる。	気候の保護における自分の責任を認識する。	進んでエネルギー消費量と気候への影響を減らすことを実行する。
③ 実行する	毎日、省エネを実行する。	気候変動への影響を減らす行動をする。	生活、地域社会、学校や職場で持続可能なエネルギーと気候に優しい活動を積極的に推進する。

※ このチャレンジは、**エネルギー生産と消費行動の異なる選択がどのように気候変動へ影響を及ぼしているか理解すること**に焦点を当てています。

プラスチックチャレンジ

Healthy Planet-健康な惑星

汚染から水や土地の生態系を守り、回復する。



若者は、他の人や自分自身のためにより良い世界を作り出すことに向けて成長します。汚染が地球にどのような影響を与えるのかを理解し、汚染の増加に立ち向かう方法を特定し、挑戦し、その影響を減らす方法を理解することは、この学習プロセスの一つの側面です。陸上生態系、池、河川、海洋は私たちすべてに食料と水を提供してくれていますが、不用意な汚染の影響を大きく受けており、若者は地域社会、地元の組織、パートナーと協力して、例えば、使い捨物の削減、再利用、リサイクル、を実行しなければなりません。

Healer
for a healthy planet

→これを選んで『**健康な惑星のヒーラー（治癒者）**』を目指そう。

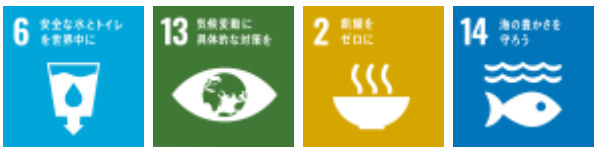
※随時プログラムを読み替え次第公開予定

学習プロセス	6~10 歳(BVS.CS)	11~14 歳(BS)	15 歳以上(VS.RS)
① 知る	汚染が生態系、人間の健康、地域社会にどのような影響を与えるかを知る。	人間が出す汚染によって生態系がどのように影響を受けているか理解する。 身近で起こっている環境汚染について知る。 生活と健康を守るために、汚染された環境で取るべき必要な行動を知る。 野外活動が自然にどのような影響を与えるか、そして良い習慣と悪い習慣の違いは何かを知る。	自分のライフスタイルに影響する直接的および間接的な生態系を理解する。 自分の食べるもの、身に着けているもの、使用する化学物質の環境への影響を減らす方法、そしてその影響をなくす方法を学ぶ。
② 協力する	自然への人的影響を減らす手助けを考える。	自分の日常生活が地球の環境にどのような影響を与えているかを認識する。 環境に優しい生活を行うようにする。	自分自身の生活習慣が汚染物質の生産に与える影響を減らす。

③　実行する	水と土地生態系の汚染を呼び掛けるイベントに参加する。 ゴミを捨てない。	可能な限り、生態系を保護するために汚染を減らす。 周りの人たちに、ごみを捨てたり、汚染につながる行動を行わないように強く求める。	地域社会での個人的な習慣や行動を通じて汚染の影響から他の人々を守る。 水と陸の生態系の汚染防止に積極的に取り組むイベントを開催する。 生活の中で、学校や職場で廃棄物を出すことを減らす。 汚染を減らすためのキャンペーンを組織する。

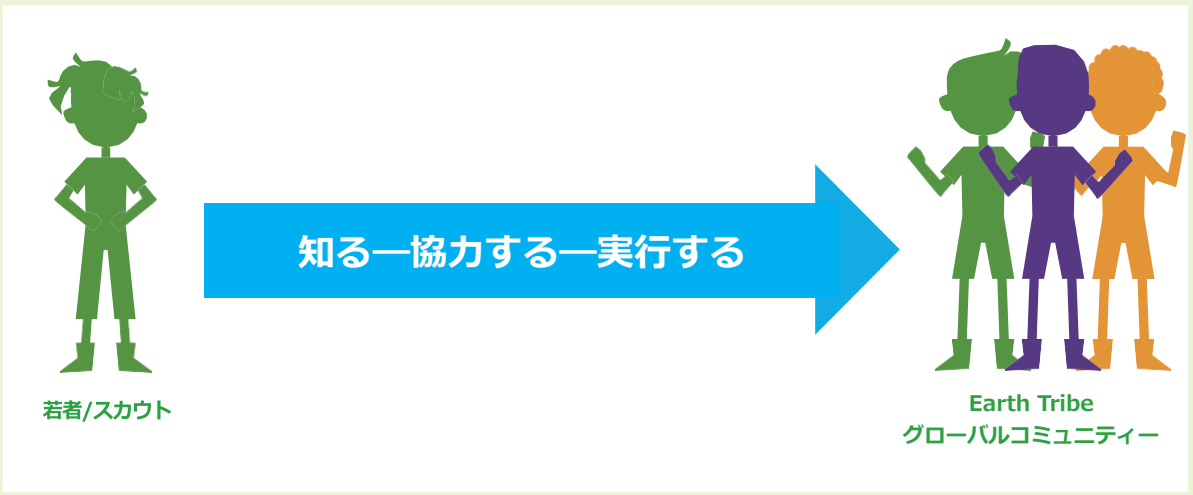
このチャレンジは、**陸上や水中での生命を守るために川、海洋、土地を清潔に保つことにおける人間の行動の影響を理解すること**に焦点を当てています。

Healthy Planet-健康な惑星



３つのステップで取り組もう

Earth Tribe は、スカウトがそれぞれの取り組みに対して**知ることから始まり**、周りの人と**協力して**、自分たちができることを**実行する**までを一つの挑戦として、３つのステップに区切っています。Earth Tribe の各チャレンジにおいて、このステップは共通ですが、実際に行う内容（進級課目等への置き換えも含む）は異なります。このプログラムは、スカウトと指導者が自分たちの地域において活動し、課題を見つけること、そして課題に挑戦することによってスカウトの能力が向上することに焦点を当てています。



ステップ１『知る』

環境に対して良い選択を行うにも、なぜそのような課題があるのか知らなくてはなりません。電力やエネルギー資源がどれだけ無駄遣いされているのか、気候変動による影響が与える影響は何なのか、今の社会のこと、環境のことを**「知る」**ことから、Earth Tribe の取り組みはスタートします。
自分が住んでいる街のこと、周辺に生息している動植物が私たちの生活にどのように影響しているのか、考えるきっかけとして考えたり、調べたりすることから始めてみましょう。

⇒ステップを完了して気づきを得たら、**Earth Tribe バッジ**を着用することを推奨します。
※隊指導者は隊のスカウトが団指導者は団のスカウトが Earth Tribe バッジを取得することで着用することが出来ます。

Earth Tribe バッジ

ステップ２『協力する』

人々の生活を豊かにするのは、さまざまな資源だけでなく、地域の人との関わりを持つことも大切な要因であり、地域の人々や、学校の友達やスカウトの仲間、家族とともに**「協力する」**ことも、環境への取り組みには欠かすことができません。

地域を流れる河川の生態系の課題について考えたり、不法投棄のゴミについて話し合ったり、野生動物が多い地域ではいかにして共存できるかなど、みんなでできること・一人でもできることを考えたり、互いに発表する場を持ってみましょう。

ステップ３『実行する』

情報や気付きを得て、取り組む計画を立てて、さまざまな協力を得ることできたら、いよいよ「実行する」時がやってきました。でも大げさに考えることはありません。スカウト活動はもちろんのこと、日常生活においても、何らかの形で社会や地球に対する取り組みであることを自然と実践しています。

いかにゴミを少なく調理をすることができるか、環境に影響の少ない方法での火おこしやキャンプをすることができるか、日日の善行として地域のために日常生活で行動できるか、行動に移してみましょう。

各年代においてもできることは異なります。自分ができることに取り組んでみましょう。

ビーバー：　自分でできることに挑戦する。

カブ：　家や日常生活でできることを考え、個人（または組）で行動する。

ボーイ：　地域や学校での課題について考え、班（または個人）で行動する。

ベンチャー：地域課題を調査し、チーム（または個人）で行動する。

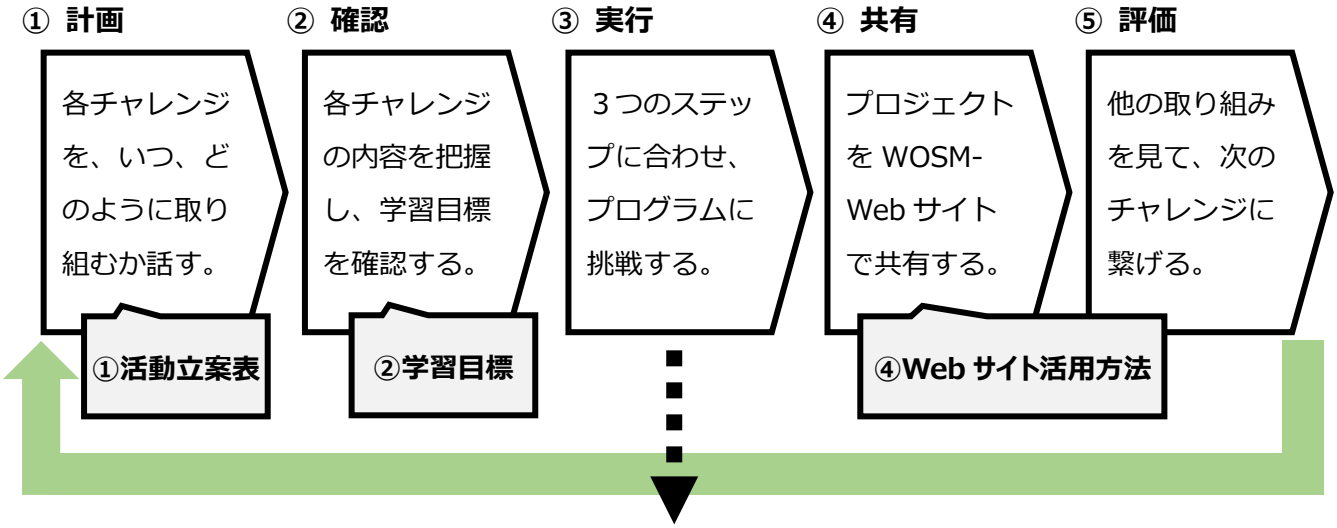
ローバー：　地域課題を調査し、市民や団体と協働して、課題解決に取り組む。

⇒知る、協力する、実行する、の流れで細目を履修すると、**チャレンジバッジ**を着用することができます。

チャレンジバッジ

チャレンジの進め方

３種類のチャレンジが用意されていますが、進め方はどれも共通です。全てのチャレンジは、指導者とスカウトとの話しをすることから始まります。計画をたて、実行し、最後の評価を経て、次の計画を行うこのサイクルを普段の活動の中で自然と繰り返すことで、環境への取り組みを実践していきます。
それぞれのシーンで利用する資料名を参考に、チャレンジを進めてみてください。



<ステップ１『知る』の進め方>

学習目標「知る」の項目を履修する。 **②学習目標**

チェックシートの「知る」の欄に記録する。 **⑤チェックシート**

隊長の認証。Earth Tribe バッジを制服に着用。（この時点で指導者も着用します。）

※ チャレンジへの導入が完了したと隊長に認められれば、Earth Tribe のメンバーです。

<ステップ２『協力する』の進め方>

学習目標「協力する」の項目に取り組む **②学習目標**

チェックシートの「協力する」の欄に記録する。 **⑤チェックシート**

※ 「知る」で気づいたことに関して、自分のできること、社会に役立つことを計画します。

※ 仲間や家族、地域の人たちを巻き込んだ計画となると、持続可能な社会の実現に近づきます。

<ステップ３『実行する』の進め方>

学習目標「実行する」に沿って、考えた計画を実行する。 **②学習目標**

チェックシートの「実行する」の欄に記録する。 **⑤チェックシート**

隊長の認証。チャレンジバッジを授与して制服に着用する。 **③交付申請書**

※ 「協力する」で計画したプロジェクトが完了し、隊長に認められればチャレンジ達成です。

※ プロジェクトの共有を行うことで、次のチャレンジに向けた新たなヒントが見つかります。

資料①：Earth Tribe 活動立案表

県連盟：　　地区：　　所属：　　第　　団　氏名：

作成日：　　年　　月　　日

あなたの考える環境への取り組み	環境への良い選択 Better Choices	自然と生物多様性 Nature and Biodiversity
あなたの隊や地域を取り巻く課題は？		
あなたが挑戦できる環境への取り組みは？		
あなたの隊で現在実施中のプログラムは？		
次に挑戦する環境への取り組みは？		

あなたの考える環境への取り組み	クリーンエネルギー Clean Energy	健康な惑星 Healthy Planet
あなたの隊や地域を取り巻く課題は？		
あなたが挑戦できる環境への取り組みは？		
あなたの隊で現在実施中のプログラムは？		
次に挑戦する環境への取り組みは？		

資料②：Earth Tribe チャレンジバッジ交付申請書

(県)連盟　　第　　団 団委員長

作成日：　　年　　月　　日

Earth Tribe チャレンジバッジ交付申請書

所属隊： BVS ・ CS ・ BS ・ VS ・ RS

申請者：

教育規程により、下記のスカウトについて、Earth Tribe 記章の交付を申請します。

記

チャレンジプログラム			氏名	初回※	所属(非加盟員は不要)	進歩課程/進級課程
ネイチャー	エネルギー	プラスチック				
例) ○			環境　太郎	✓	ボーイスカウト隊	1 級スカウト章

※　初めてプログラムに挑戦する場合、「知る」の項目を履修することで Earth Tribe バッジを取得することができます。

団処理欄		
受　　理	団委員長	交　　付
年　　月　　日	年　　月　　日	年　　月　　日

資料③：WOSM-Web サイト活用方法

持続可能な開発のための教育を支える学習機会として、より良い世界に向けた枠組みである『Better World Framework』を活用して、各国のスカウティングを SDGs の目標と照らし合わせて取り組むことが出来るようになりました。環境教育もその枠組みの中に含まれ、そのうち日本連盟としては Earth Tribe と Messengers of Peace の取り組みを展開しています。

また、Scouts for SDGs の枠組みの活用や JOTA-JOTI を始めとするオンラインイベントへの参加においては、WOSM の Web サイトを活用することができます。参考となるプログラムを探したり、自分たちの活動を投稿したり、イベントへの参加に活用したりと、日頃の活動へ活かすことが可能です。

WOSM の Web サイトの活用方法について、そのシーンごとに紹介いたします。

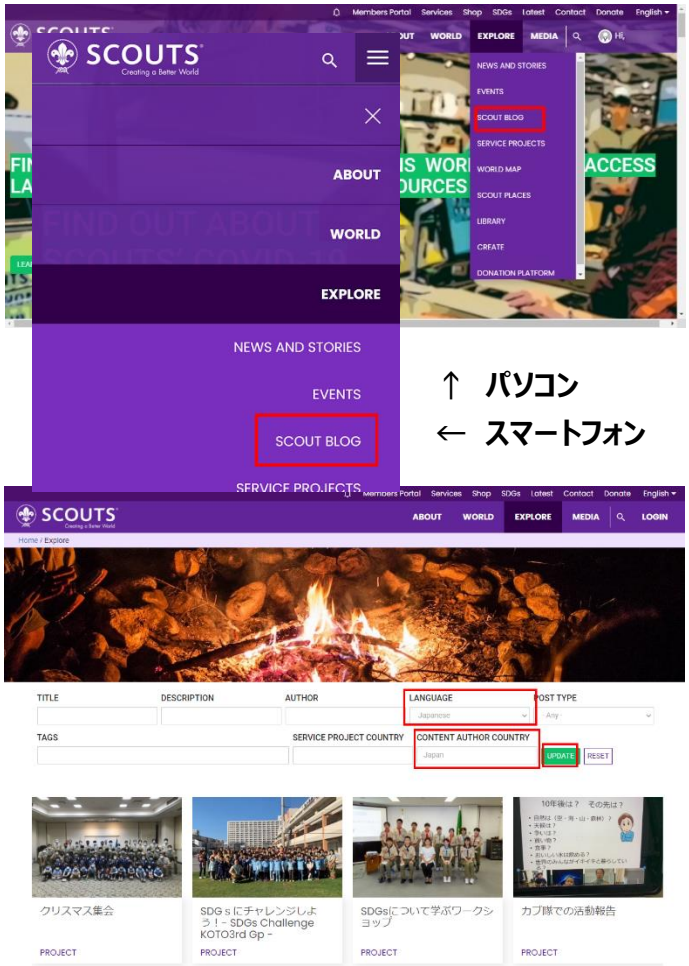
プロジェクトの検索方法

<Web サイトへのアクセス>

1. ブラウザを開いて、「WOSM」と検索するか、URL：https://www.scout.org/を入力し、WSOM の Web サイトを開きます。
2. メニューから「EXPLORE」→「SCOUT BLOG」を選択します。
3. スマートフォンの場合、右上の三本線のアイコンをクリック、「EXPLORE」→「SCOUT BLOG」を選択します。

<プロジェクトの検索>

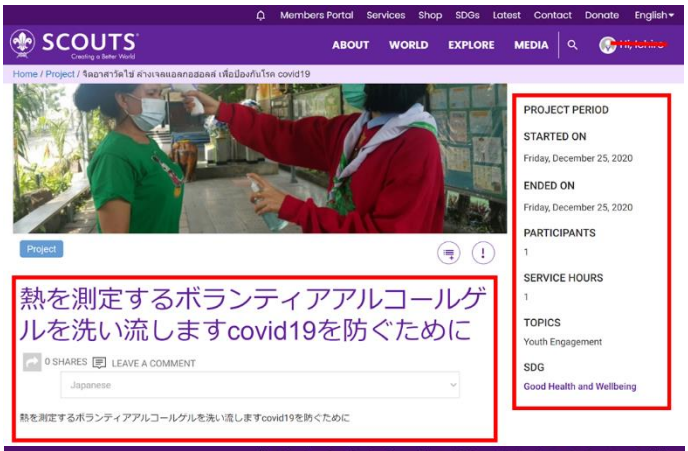
4. 条件を指定し、緑色ボタン「UPDATE」から各国参加者の投稿記事を検索できます。
5. LANGUAGE を「Japanese」に設定したり、CONTENT AUTHOR COUNTRY を「Japan」にして、直近の日本の記事を検索できます。
6. 検索条件に一致する投稿一覧から、写真やタイトルをクリック、詳細を閲覧できます。



<プロジェクトの閲覧>

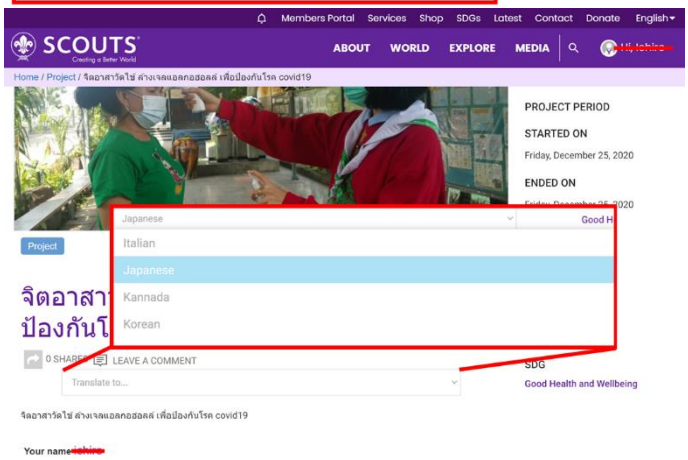
7. プロジェクトの概要（日付、参加者、奉仕活動時間、該当 SDGs）の他、ブログの本文でプログラム内容や写真を閲覧できます。
8. 該当 SDGs をクリックすることで、関連するプロジェクトを検索することができます。

※ SDGs が普段のスカウト活動とどのように関連づいているか見ることもできます。



<プロジェクトの翻訳>

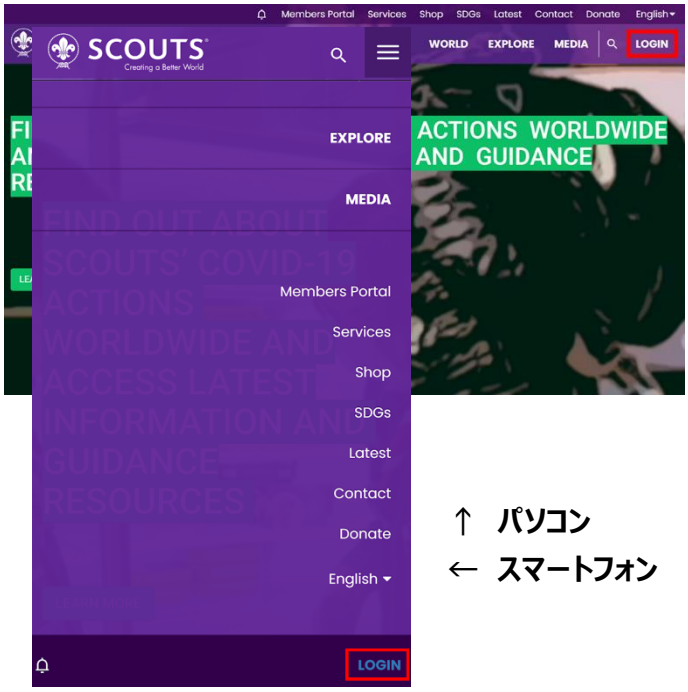
9. 他国のスカウトプロジェクトについても、他国の言語で閲覧することも可能ですが、記事内の言語を翻訳することができます。
10. 記事の閲覧画面の「Translate to...」から翻訳する言語を選択できます。
11. 「Japanese」（日本語）を選択すると、記事のタイトルと本文が機械翻訳にかかり、日本語で読めます。



ユーザー登録方法

<Web サイトへのアクセス>

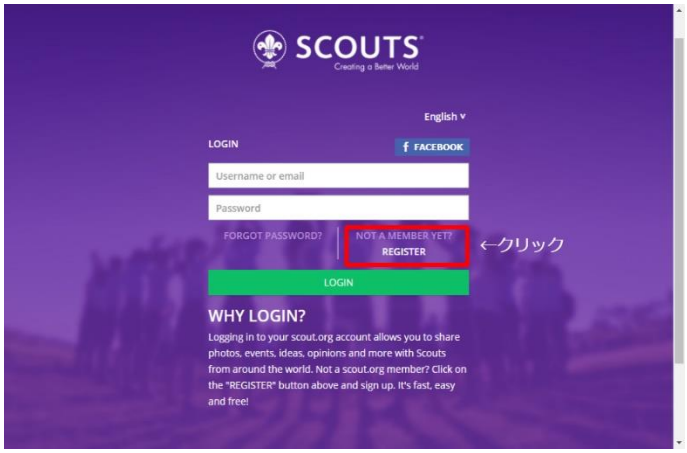
1. ブラウザを開いて、「WOSM」と検索するか、URL：https://www.scout.org/を入力し、WSOM の Web サイトを開きます。
2. メニューから 「LOGIN」を選択します。
3. スマートフォンの場合、右上の三本線のアイコンをクリック、スクロールしてメニューの一番下ある「LOGIN」を選択します。



↑ パソコン
← スマートフォン

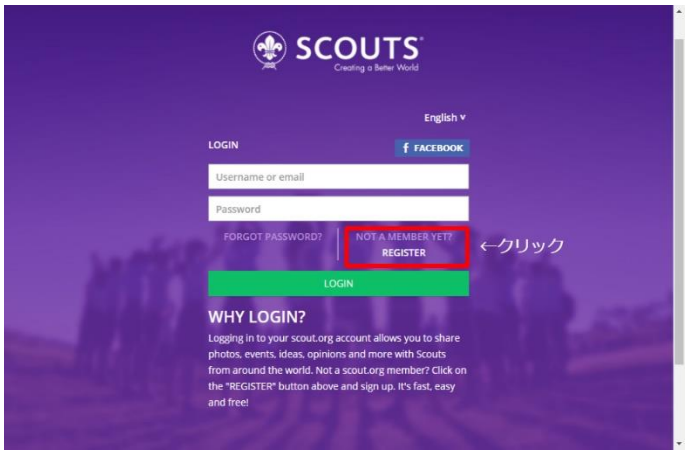
<Login 画面へのアクセス>

4. 画面中央のリンク「REGISTER」をクリックします。
5. ユーザー登録後は、このあと設定するユーザー名とパスワードでログインできます。
6. 白枠内に「Username」と「Password」を入力し、緑色のボタン「LOGIN」を押して、ログインします。



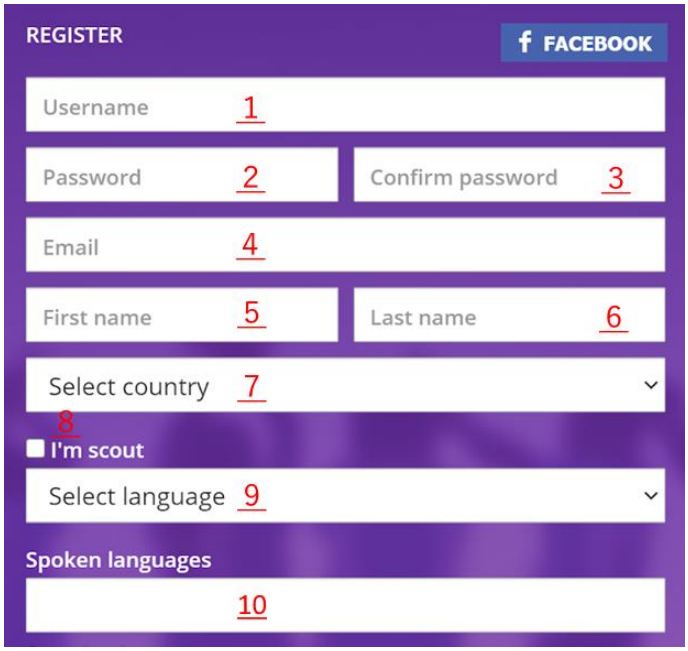
<Login 画面へのアクセス>

7. 画面中央のリンク「REGISTER」をクリックします。
8. ユーザー登録後は、このあと設定するユーザー名とパスワードでログインできます。
9. 白枠内に「Username」と「Password」を入力し、緑色のボタン「LOGIN」を押して、ログインします。
10. 次ページで登録内容を入力・選択します。



<Register・登録内容の入力>

① Username - ユーザー名を作成します
② Password - パスワードを決めます
③ Confirm password - 再度入力します
④ Email - メールアドレスを入力します
⑤ First name - 名を入力します
⑥ Last name - 姓を入力します
⑦ Select Country - Japan を選択します
⑧ I'm Scout - 加盟員はチェックを入れます
⑨ Select language （表示言語）
表示言語は English を選択します。他に、アラビア語、フランス語、インドネシア語、ロシア語、スペイン語が選択可能です。
⑩ Spoken Languages （使用できる言語）
日本語を話せる人は Japanese を選択します。複数選択可。



<Register・登録内容の入力（続き）>

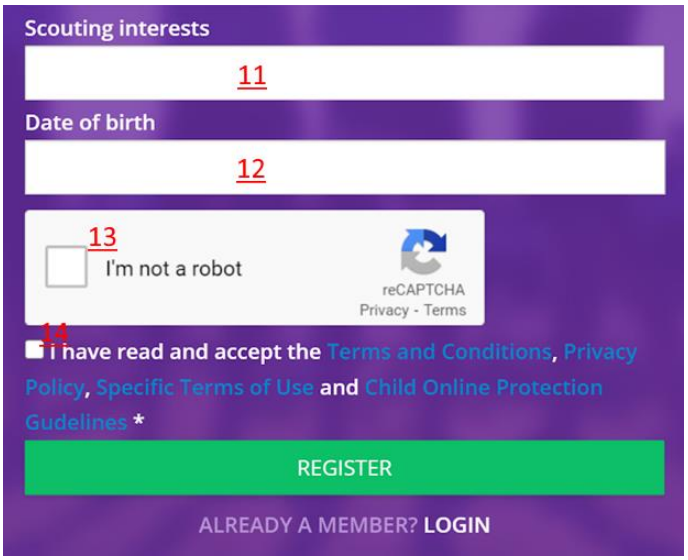
⑪ Scouting Interest （任意）
好きな分野を入力します。

⑫ Date of birth - 生年月日を選択

⑬ I'm not a robot - チェックをつけます。

⑭ 悪意ある自動登録ではなく人間による操作であることを確認する機能です。利用環境によって追加の認証の可能性もあります。

⑮ I have read and accept… - 規約への同意
利用規約、プライバシーポリシー、アカウント規約、オンライン児童保護ガイドライン等

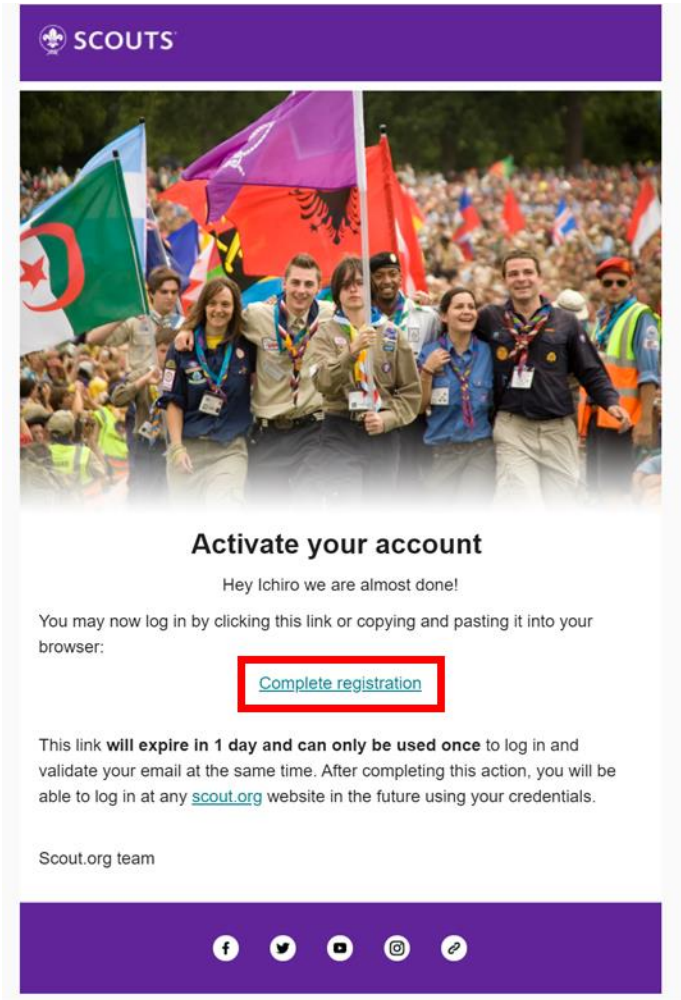


11. 緑色のボタン「REGISTER」を押して、登録します。
12. 登録で入力したメールアドレスに本人確認のためのメールが送付されるので、内容を確認します。

<ユーザー登録の完了>

13. ユーザー登録で入力したメールアドレスに届く本人確認メールを開きます。
14. メール本文中央のリンクをクリックします。
15. メールアドレスが認証され、WOSM の Web サイトが表示されます。
16. 登録が完了しているか、LOGIN 画面へアクセスして、登録したユーザー名とパスワードを使ってログインします。

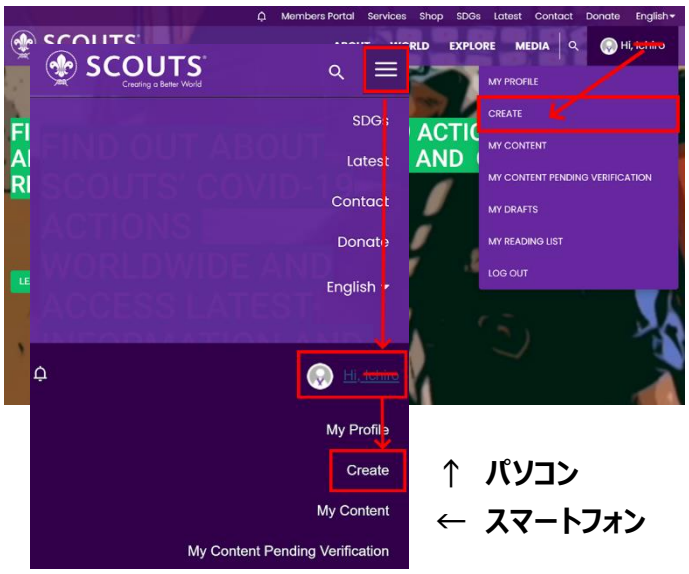
※ リンクをクリックしても、エラー画面が表示される場合があります。その際は、時間を空けてログイン画面からユーザー名とパスワードを入力して、ログインボタンを押すと新たな確認メールが送信されますので、再度メールを確認してください。



プロジェクトの検索方法

<Web サイトへのアクセス>

1. ブラウザを開いて、「WOSM」と検索するか、URL：https://www.scout.org/を入力し、WSOM の Web サイトを開きます。
2. WOSM サイトにログインします。
3. 右上の名前をクリックして表示されるメニューから「CREATE」を選択します。
4. スマートフォンの場合、右上の三本線のアイコンをクリック、スクロールしてメニューの一番下ある名前をクリック、さらに表示されるメニューから「CREATE」を選択します。



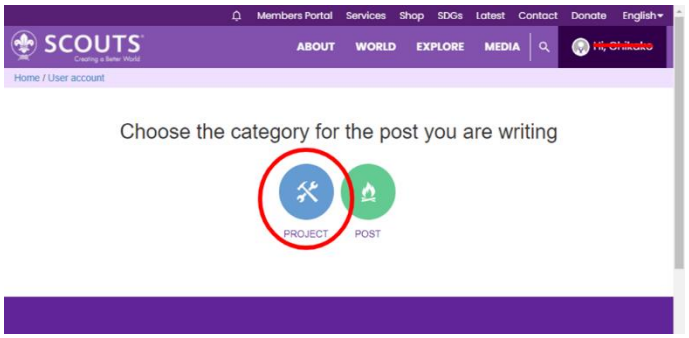
↑ パソコン
← スマートフォン

<プロジェクトの作成>

1. 投稿の種類に、「PROJECT」を選択します。

※ **PROJECT**：隊や地域での取り組みや奉仕活動の報告で主に利用します。

※ **POST**：団や県連盟におけるニュース記事や広く国外に周知したい内容で利用します。



<Register・登録内容の入力>

① LANGUAGE - 使用する言語を選択します
翻訳機能もあり、日本語で投稿する場合は「Japanese」を選択します。

② TITLE - 記事のタイトルを入力します

③ Project Period - 活動の期間を入力します

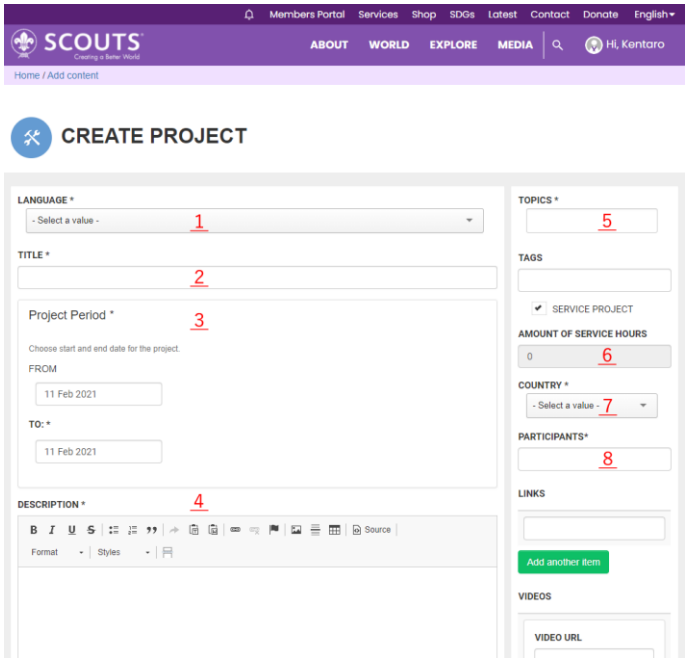
④ DESCRIPTION - 活動の内容を入力します

⑤ TOPICS – カテゴリーを選択します
複数選択ができ、SDGs に関連する場合は、「Better World Framework」を選択します

⑥ AMOUNT OF SERVICE HOURS–自動入力

⑦ COUNTRY - Japan を選択します

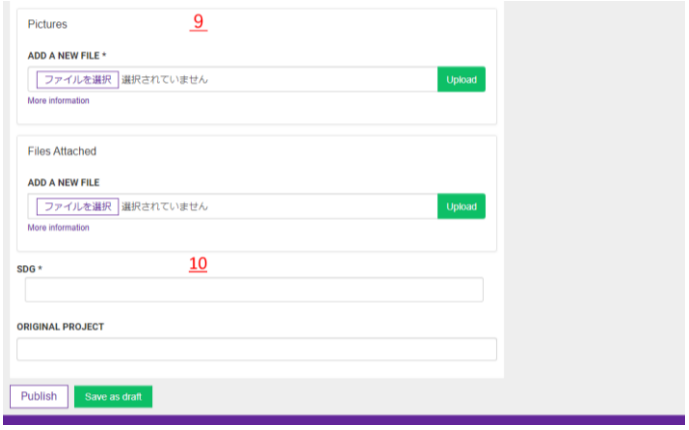
⑧ PARTICIPANTS - 参加人数を入力します



<Register・登録内容の入力（続き）>

⑨ Pictures - 写真を選択して投稿できます
写真は、記事の見出しのアイキャッチとして、また投稿末尾に掲載されます。

⑩ SDG - 該当する SDGs を選択します
17 の目標から選択することができ、複数選択も可能です。



2. 下段左のボタン「Publish」を選択すると、入力した内容が投稿されます。

チャレンジの完結と次のチャレンジへの準備

Earth Tribe では、３つのチャレンジがあり、自分の興味や関心、地域の社会課題に合わせて取り組むことができます。
チャレンジは、「知る・協力する・実行する」の３つのステップで取り組みますが、最後に取り組んだチャレンジを家族や地域に対して共有、発信することが大切です。その共有を行うことで、周りの人々を巻き込み、また新たな課題の発見や自分自身の新たな興味関心を見出すことにつながります。
WOSM の Web サイトにおける投稿も、国内はもとより他国のスカウト仲間に対する共有をプログラムに参加したスカウトが行うことで、世界中のプログラムヒントを皆が共有することにつながります。
一つのチャレンジの完結は、次のチャレンジへの準備につながります。進歩・進級への取り組みに、環境プログラムである Earth Tribe をうまく組み込みながら、団や隊の活動を活性化させていきましょう。そして、地域の人々を巻き込みながら、持続可能な社会の実現に取り組んでいきましょう。

資料④：チャレンジチェックリスト（参考：環境のアドボケート/BVS）

県連盟：　　地区：　　所属：　　第　　団　氏名：

※　目標が達成できたら、下の枠に「✓」を入れましょう。

	学習目標	✓	自分が気づいたことと目標を書こう	
知る	花や野菜などを育てる。			
	簡単な料理をする。			
	「地球温暖化」とは何か家族から話を聞いてみる。			
Earth Tribe のメンバーになる（バッジを着用できる）			**バッジ着用日**	年　月　日

	学習目標	✓	自分が実施したこと・気づいたことを書こう	
協力する	家で過ごしている中で、自分たちができることを考え、隊や家族の中で発表する。			
一緒に活動する仲間を見つける			**達成日**	年　月　日

	学習目標	✓	自分が実施したこと・気づいたことを書こう	
実行する	「協力する」で考えた、自宅でできることを期間を決めて挑戦する。挑戦したことは、ノートに記録して、隊や家族の中で発表する。			
プロジェクトを達成する（チャレンジバッジを着用できる）			**チャレンジバッジ授与日**	年　月　日

	実行した内容 <30 分程度・継続した内容>	✓	いつ、だれが、何を行ったか書こう	時間
（報告する）				
世界のメンバーと共有する WOSM Web サイトに登録する			**通算奉仕時間（サービスアワー）**	時間
チャレンジを達成する			**達成日**	年　月　日

Earth Tribe のパートナーネットワーク

世界自然保護基金 – Champions for Nature Challenge の組み立てを支援し、Earth Hour キャンペーンにおいて WOSM と協力しています。

国連環境計画 -Tide Turners Plastic Challenge の組み立てを支援し、クリーンシーズ・キャンペーンにおいて WOSM と協力しています。

Solafrica – Better World Framework の下、Earth Tribe に the Scouts Go Solar Challenge の組み込みを支援しています。

FAO – 現在アフリカ地域のいくつかの連盟で実施されている the Food For Life の冊子作成を支援しています。

YUNGA – Earth Tribe の Learning Path（学習経路）に組み込むことができるチャレンジの開発を支援しています。

Earth Tribe 導入 隊長用ガイド Ver.0.4

発行日： 2021 年 8 月 17 日（改定）

編集者： Earth Tribe 推進タスクチーム

発行元： 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

Scout Association of Japan

〒167-0022 東京都杉並区下井草 4-4-3

program@scout.or.jp（青少年プログラム関係）